

熊市P協発第 55号
平成25年10月8日

各学校長 様
各単P会長理事 様
各市P担当副会長理事 様

熊本市PTA協議会
会 長 上田 芳裕
教養委員長 本田 公司
(公印省略)

平成25年度熊本市PTA研究大会の実施について（ご案内）

秋涼の候、皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
さて、標記の研究大会を下記のとおり開催いたします。
各単Pにおかれましては、実りある研究大会になりますよう、参加へのご協力をよろしくお願いたします。

記

- 1 期 日 平成25年11月30日（土） 13:00～16:00（受付12:15～）
- 2 場 所 熊本保健科学大学 （熊本市北区和泉町325 Tel:275-2111）
～西里駅西側、フードパル北東側～
- 3 参加者 熊本市PTA会員 約700名
- 4 テーマ ≪ 『生きる』 ～今から生き抜くためには～ ≫
- 5 日 程
 - (1) 保健科学大学より 13:00～
 - (2) 開会行事 13:10～
 - (3) 全体講演 13:40～
演題 「生きる」それは対話力 ～子どもと共に対話力を育むためには～
講師 フリーアナウンサー 池田 美保 氏
 - (4) 分科会 15:00～16:00
 - ① 不登校と私と未来 福岡県立八女工業高等学校 教諭 平川三成 氏
 - ② スマホとSNS時代の情報モラルとは 熊本市立総合ビジュアル専門学校 教頭 桑崎 剛 氏
 - ③ 子どもの心配な行動について 熊本保健科学大学 作業療法士 森本誠司 氏
- 6 参加申し込みについて
 - ・ 各単P会員数に応じた割り当てをしております。別紙申込書にご記入の上、市P事務局あて、FAX（351-2309）にて送信願います。
 - ・ 申し込み締め切りは、11月8日（金）です。
- 7 お願い
 - ・ 駐車スペースに限りがあります。できるだけ乗り合わせてお越しく下さい。
 - ・ 受付時、多人数が短時間に集中します。時間に余裕をもってお越しく下さい。

連絡先	熊本市PTA協議会事務局
Tel	096-356-1122 Fax:096-351-2309
HP	熊本市PTA協議会 ← <input type="button" value="検索"/>
Eメール	info@kumamotocity-pta.net

研究大会テーマ

《 『生きる』 ～今からを生き抜くためには～ 》

今日、子どもたちをとりまく社会環境には、いじめ問題等多くの課題があります。その中を生き抜くためには、真の生きる力を身に付けた子どもたちの育成が必要と思われれます。併せて、学校・家庭・地域が一体となって、子どもたちを守り、思いやりや感謝の気持ちを持った子どもたちを育てていかなければなりません。

今からを生き抜く子どもたちのために、私たちが共に学び、子どもの模範、憧れとなる行動を示すことが不可欠と考えます。ぜひ、この大会で大人（親）の背中を見せるために学び合おうではありませんか。

その結果、親を追い越し子どもの背中が見えるようになれば最高です。追い越した後、振り返ることもなく、背中が見えなくなってしまうような成長ではなく、手を引いてくれる成長を期待して・・・

<全体講演>

**演題 『生きる』それは対話力
～子どもと共に対話力を育むためには～**
講師 フリーアナウンサー 池田美保 氏

コミュニケーション能力の低下が指摘される中、放送現場や様々な環境の学生たちと接することで今実感されていることや、アナウンサーの仕事を通して感じる「音声表現の大切さ」についてお話しされます。

講師は、熊本市出身、元エフエム熊本のアナウンサー。現在は福岡を拠点にフリーアナウンサーや、ラジオ番組のディレクターとしての仕事を中心に活動しておられます。

<分科会①>

演題 不登校と私と未来
講師 福岡県立八女工業高等学校教諭 平川三成 氏

小学2年から中学卒業までの8年間、不登校となり家にこもる毎日。友達への劣等感や不安いっぱいの中、母親からの勧めで全日制高校へ進学。新しい環境での先生方や友達との出会いに人の大切さやありがたさを感じ、一生の宝物となった。

高校時代「教師になる」と冗談で言ったことを恩師が後押ししてくれ、教師を目指していき・・・実現された26歳の高校教諭による実体験に基づくご講話です。

講師は、現在、福岡県立八女工業高等学校の教諭として活躍しておられます。

<分科会②>

**演題 スマホとSNS時代の情報モラルとは
～ネット社会で生き抜く子どもたちを育てるためには～**
講師 熊本市立総合ビズ専門学校教頭 桑崎 剛 氏

情報ネット（インターネット、携帯サービス等）は便利なものです。しかし同時に、様々なトラブルや、犯罪に巻き込まれるケースも少なくありません。本日は最新の事態を踏まえ、正しい利用法から犯罪対策まで、納得のいくお話が伺えるものと存じます。

講師は、熊本市出身で東京理科大学卒業後教職に就かれ、専門は数学教育。特にICT教育、情報モラル教育の実践家として、「ガイヤの夜明け」のTV出演や内閣府・総務省・文部科学省において「子どものネット問題」における第一人者として、全国で公演活動を展開しておられます。

<分科会③>

演題 子どもの心配な行動について
講師 熊本保健科学大学作業療法士 森本誠司 氏

子育てをしている中で、「なぜ、こんな行動をとるのだろう？」「これってうちの子だけ？」「個性なの？」などと思うことはありませんか？その「なぜ？」を分析しながら、作業療法士というリハビリテーションの視点から対応や寄り添い方などを提案されます。

講師は、熊本保健科学大学大学院 保健科学研究科 保健科学専攻修了後、熊本保健科学大学リハビリテーション学科講師としてご勤務。専門分野は「発達障害領域に対する作業療法」です。数々の著書・論文を発表。また、各方面の学会活動・社会活動と幅広く活躍しておられます。